

わたしたちの加東

- ふるさと学習「かとう学」 -

3年生

4年生

わたしたちの加東

3年生・4年生

加東市教育委員会

【保護者の皆様へ】

「わたしたちの加東」は、3年生と4年生の子どもたちが、身近な加東市を題材に、「地理的環境と人々の生活」「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」「歴史と人々の生活」について学習できるように、地域の協力を得て、加東市の教員が中心となって、作成した一冊です。

社会科の学習を通して、主体的に社会と関わり、よりよい社会の担い手となるとともに、加東市（ふるさと）への愛着や誇りを育むことを願って、編集しました。

学校での授業だけでなく、ご家庭での学習やご家族のふれあいなどにも、ぜひご活用ください。



学校

3年 組・4年 組

なまえ

加東市教育委員会

3年 もくじ

- わたしのまち
みんなのまち …… 2
1 学校のまわり …… 2
2 市の様子 …… 6
- はたらく人と
わたしたちの暮らし …… 20
1 ①農家の仕事 …… 20
②工場の仕事 …… 32
2 店ではたらく人 …… 44
- くらしを守る …… 64
1 火事からくらしを守る …… 64
2 事故や事件から
くらしを守る …… 76
- 市のうつりかわり …… 86
1 市の様子と人々の暮らしの
うつりかわり …… 86



▲市のキャラクター「加東伝の助」

4年 もくじ

- わたしたちの県 …… 100
1 県の広がり …… 100
- 住みよいくらしをつくる …… 114
1 水はどこから …… 114
2 ごみのしよりと利用 …… 132
- 自然災害から
くらしを守る …… 148
1 風水害から
くらしを守る …… 148
- きょう土の伝統・文化と
先人たち …… 162
1 残したいもの
伝えたいもの …… 162
2 東条川疏水と
わたしたち …… 170
- 特色ある地いきと
人々の暮らし …… 184
1 丹波焼をつくるまち
丹波篠山市今田町 …… 184
2 国際交流に取り組むまち
加東市 …… 190
3 町の資源を生かすまち
豊岡市 …… 198

はじめに

「わたしたちの加東」は、加東市の「ひと」「もの」「こと」が詰まった本です。
人々の暮らしを支えたり、伝統を守ったりする「ひと」
四季折々の美しい自然や生活を豊かにする様々な施設などの「もの」
先人の努力と情熱によって、受け継がれてきた歴史や伝統、文化、産業などの「こと」
この、「わたしたちの加東」の学習を通して、みなさんが生まれ育った加東市のことを、
様々な角度から見つめてください。
そして、ふるさとを知り、興味を深め、体験し、ふるさとに親しんでください。
そういった学習をすることで、これまで見慣れていた景色や何となく足を運んでいた
場所に、人々の営みや温かな思い、そして長い歴史を感じることができるよう。
ふるさと学習で感じたことをもとに「もっと調べてみよう」「自分には何ができるかな」
と考え、主体的に関わっていくことで、心の中に、ふるさとへの「愛着」や「誇り」をもつ
ことができます。
身近なことから、少しずつ、自分の速度でふるさとへの関りを深め、学習を広げるこ
とを期待しています。
いつか大人になったとき、加東市(ふるさと)が、みなさんの心のより所となり、人生
を彩ってくれることでしょう。
ふるさとを愛し、自らの夢に挑み、自立した人に成長されることを願っています。

2026(令和8)年
加東市教育長 藤原 路寛

▼この本に登場するキャラクター



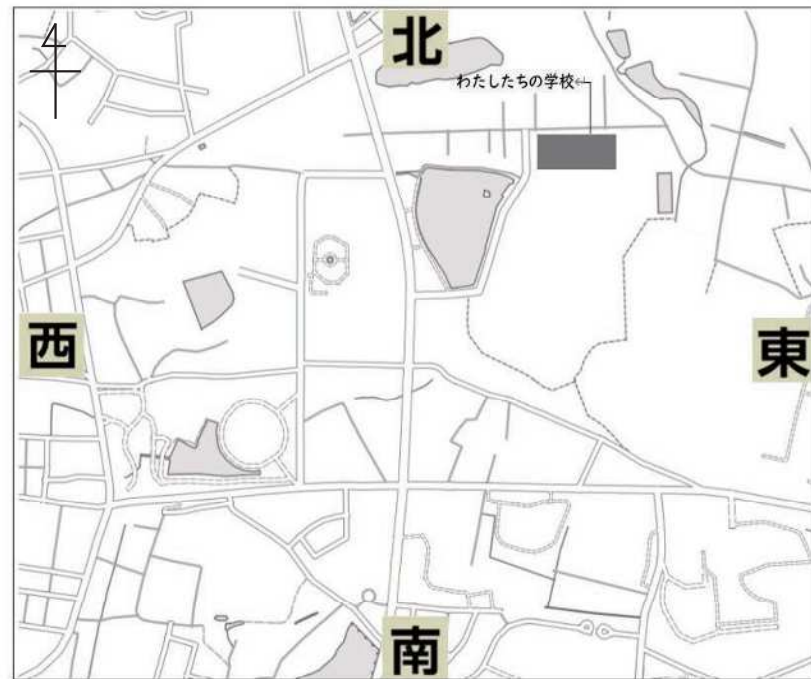
さくら けんた みさき あゆむ りさ はやと

わたしのまち
みんなのまち

学校のまわり

めあて

高いところから、学校のまわりの様子をかんさつしてみましよう。



▲学校のまわりの白地図

●学校のまわりには何がある？

けんたさんたちは、学校の屋上から、学校のまわりの様子をかんさつしています。



「家がたくさんあるね。遠くには山が見えるね。」



「林の奥はどのようなたて物があったかな。」



「見えにくいところもあるからじっさいに行って調べてみたいな。」



▲高いところから見た学校のまわりの様子

屋上から学校のまわりをかんさつしよう

見てくること

- ・どんなたて物があるか。
- ・土地の様子
- ・交通の様子(車やバスが通るところ)
- ・古くからあるたて物やきねんひ

調べ方

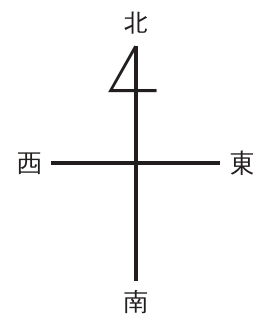
- ・屋上から学校のまわりをかんさつする。
- ・写真や地図で調べる。

気をつけること

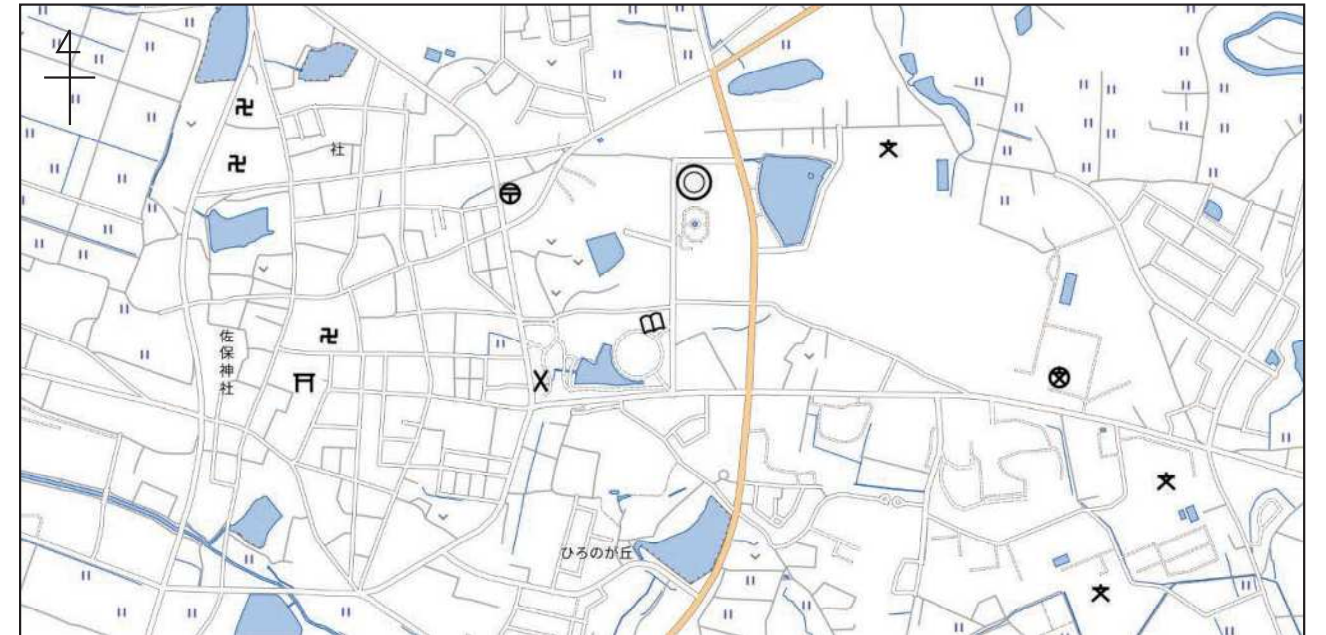
- ・安全に気をつける。

まとめ方

- ・見たことをかんたんな絵や文で白地図にかく。
- ・教室にもどったら、絵地図にまとめる。



方位じしんは、色のついてる方が北をさします。地図はふつう、北を上にして表します。



▲記号を使った地図

●くわしい地図を見てみると



「決まった記号を使うと、多くの人
がわかる地図になるんだね。」

田んぼや住たく地を中心に、地図をさら
にくわしく見ていくことにしました。

めあて

学校のまわりのたて物に
ついて調べてみましょう。

●学校の東西南北

けんたさんたちは、かんさつしてわかった
ことを絵地図にまとめました。

学校の西がわには、市役所があり、南がわ
には家がたくさんあります。東がわには
田が広がっています。西の方に行くと、公園
や交番などがあります。

また、学校のまわりには、池が多いことが
わかりました。

絵地図をかくポイント

- ①紙の上を北にする。
- ②中心に学校をかく。
- ③方位をたしかめながら、おも
な道路や鉄道をかく。
- ④目じるしになるたて物をかく。

おも
主な地図記号

文	小・中学校	Y	消防しよ	⊗	けいさつしよ	X	交番
⊕	病院	⊕	ゆうびん局	⊙	市役所	📖	図書館
卍	神社	卍	寺	⚙️	工場	🚆	鉄道と駅
≡	橋	∨	はたけ	〓	田	⊙	かじゅ園

2 市の様子

● 空から学校を見ると

さくらさんたちは、空から学校のまわりをとった写真を見て気づいたことを、これまでの学習と合わせて話し合いました。



「学校の南がわや西がわは、住たくが多いね。北がわは、田が広がっているね。」



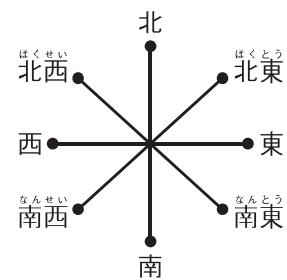
「ほかのところは、どんな様子なのかな。」

めあて

空からの写真を見て、気づいたことを話し合しましょう。

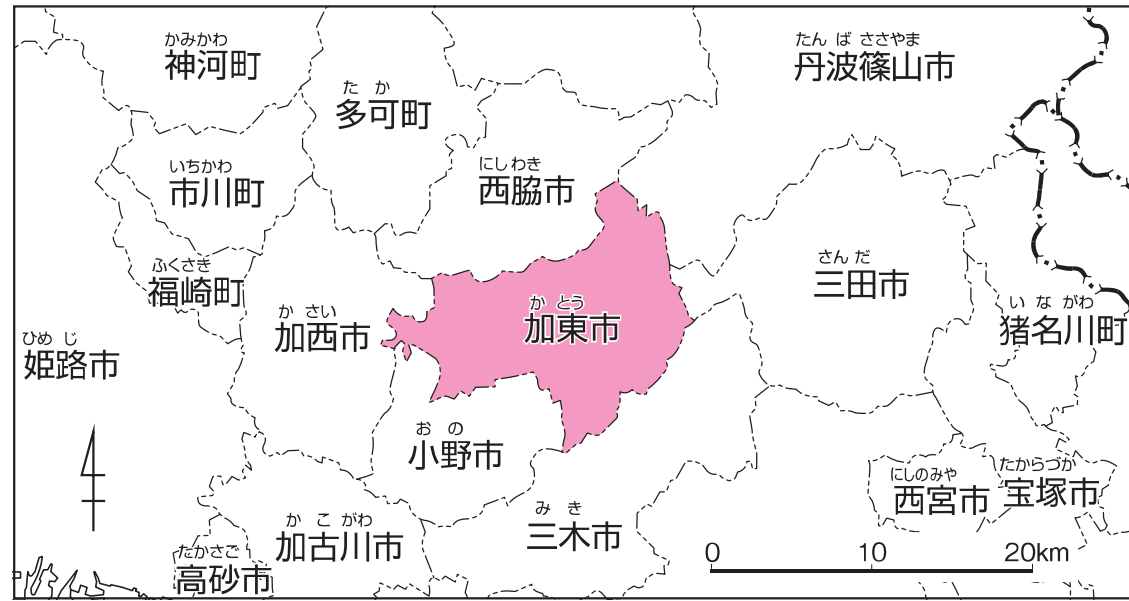
八方位

東西南北だけよりも、くわしく方位を表すことができます。たとえば、北と東の間を北東といいます。



▶ 空からとった写真





▲加東市とそのまわり

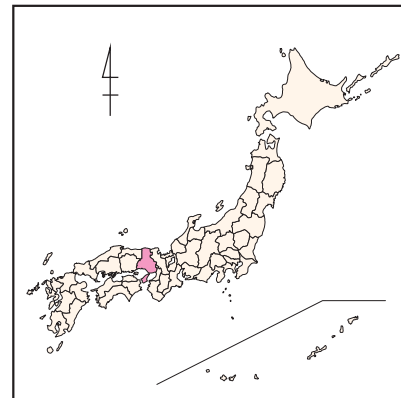
めあて

わたしたちの市はどこにあり、また、どんな場所があるのか話し合い、学習問題をつくりましょう。

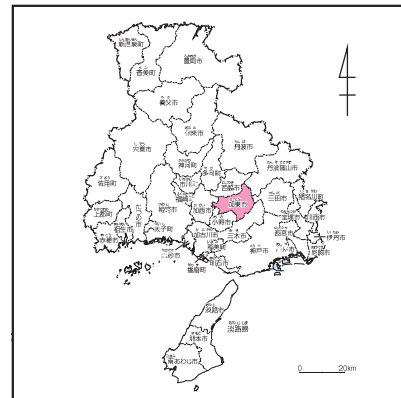
まなびのポイント

地図「わたしたちの加東市」で、市の形や位置をかくにんしてみよう。

知っている場所を、地図を使ってしょうかいしよう。



▲日本全体から見た兵庫県の位置



▲兵庫県全体から見た加東市の位置

●加東市の様子をくわしく調べよう



「わたしたちのまちには、どんなとくちょうがあるだろう。」



「人に聞いたり、じっさいに行って見たりして調べてみよう。」



▲市役所



▲東条湖



▲加東バスターミナル



▲播州清水寺

しらべること

- ・土地の高さや広がり
- ・土地の使われ方
- ・交通の様子
- ・公共しせつ
- ・古くからのこるたて物

調べ方

- ・じっさいに行って調べる。
- ・手紙を書いて、市役所の人などにしつもんする。
- ・図書館をりようしてしりょうを集める。
- ・インターネットを使って調べる。

まとめ方

- ・市をしょうかいする地図をつくる。

学習問題

わたしたちの市は、どのような様子なのでしょうか。

見方・考え方

加東市は、どこに位置しているかな。



▲山(三草山)



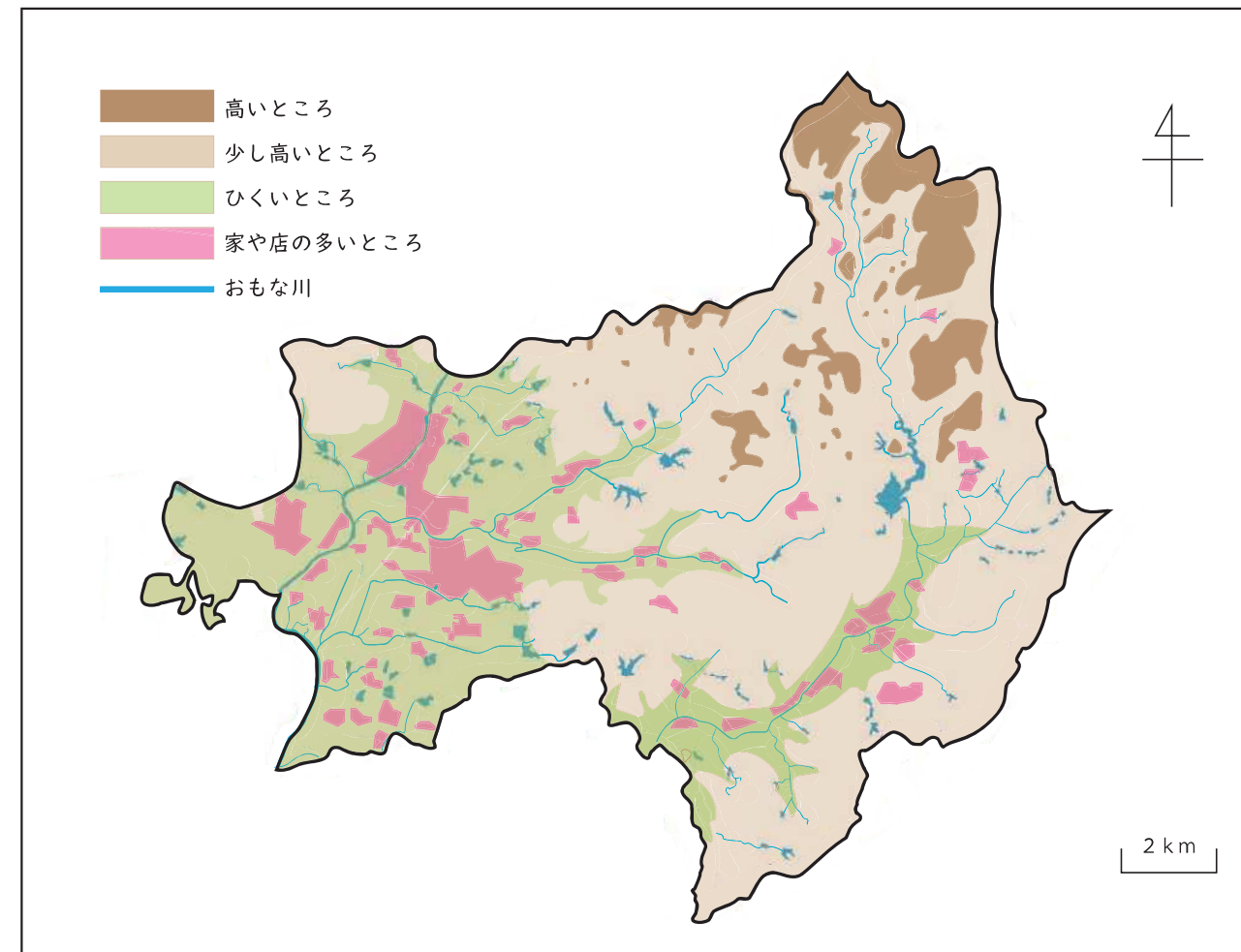
▲湖(東条湖)



▲川(加古川)



▲平らな土地が広がる(東条地いき)



▲加東市の土地の高さ

めあて

加東市の土地の高さや広がり、どのようにしているのでしょうか。

見方・考え方

川は、市のどの方角からどの方角へ流れているのかな。

●加東市の土地の高さや広がり



「市の南東がわには、東条川が流れているね。川にそったところは土地がひくくなっているよ。」



「市の北がわには山があり、土地が高くなっているね。」



「加東市で一番高いところは、どこだろう。」

まなびのポイント

土地が高いところやひくいところの広がりを調べよう。

土地の高さのちがいや広がりについて、わかったことをまとめよう。

地図から、高い土地は山のある北がわに、平らな土地は川ぞいだけでなく、市の南西がわにも広がっていることがわかります。

加東市には、加古川という大きな川のほかに、そこにつながるたくさんの川が流れています。



▲店が多いところ(上中地区)



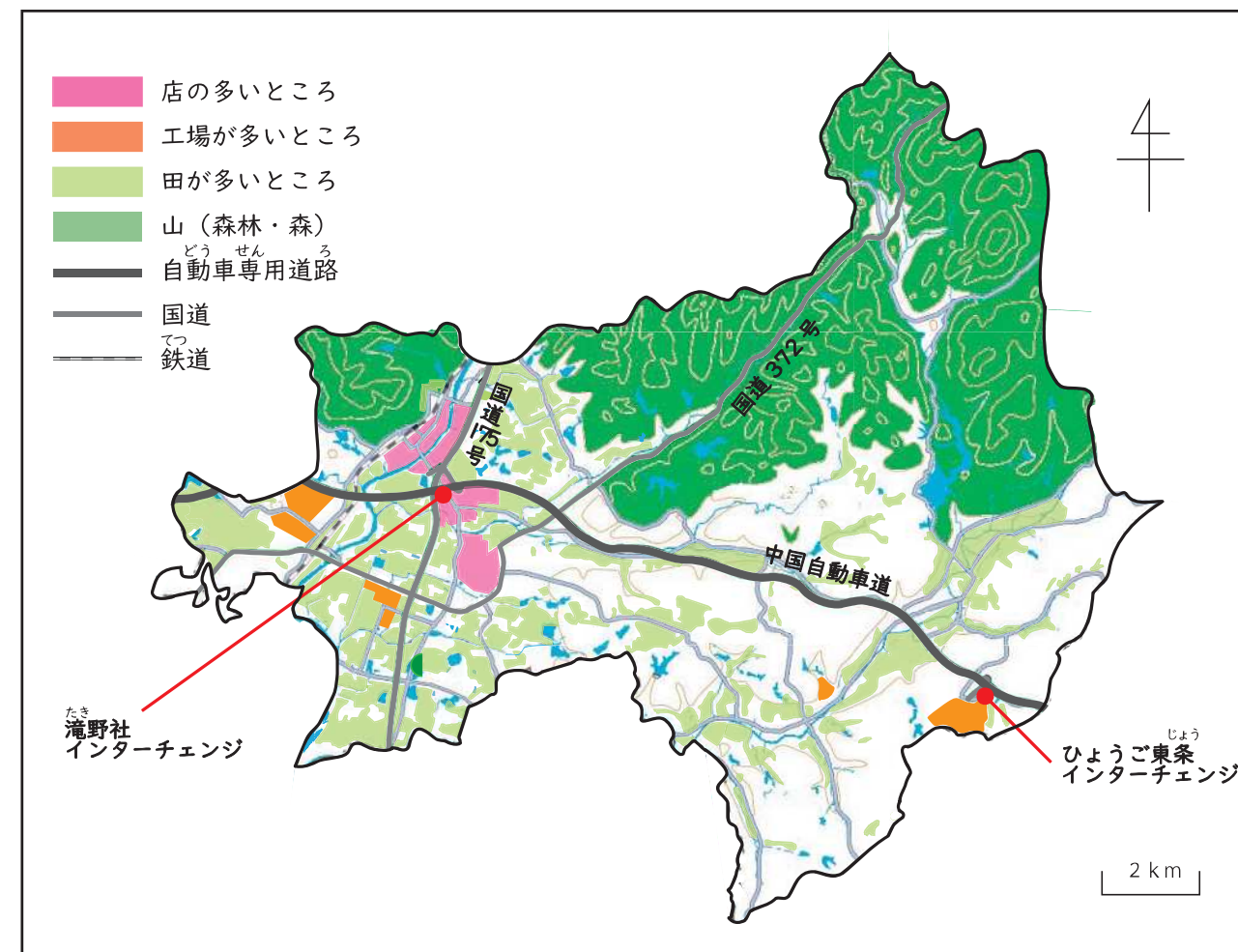
▲田が多いところ(牧野地区)



▲工場が多いところ(南山地区)



▲ゴルフ場



▲加東市の土地の使われ方

めあて

加東市の土地は、どのように使われているのでしょうか。

見方・考え方

工場は、なぜインターチェンジや国道の近くに集まっているのかな。

●加東市の土地の使われ方



「上中地区のあたりは、お店がたくさん集まっているね。また、住たくもたくさんあるんだね。」



「加東市は、ゴルフ場がたくさんあるよ。」



「工場が多く集まっているところもあるね。」

まなびのポイント

土地の高さと使われ方の関係を調べよう。

市の土地の使われ方について、わかったことをまとめよう。

東条川ぞいや、市の南西がわは、平らな土地が広がり、田がたくさんあります。食用米だけでなく、山田錦という酒米も生産されています。

中国自動車道や国道175号に近いところには、工場が多くあります。



▲国道175号



▲中国自動車道



▲JR加古川線 社町駅



▲加東バスターミナル



▲市の交通の広がり

●加東市の交通の様子

めあて

加東市の交通は、どのように広がっているのでしょうか。

見方・考え方

交通きかんが集まっているのは、どのあたりかな。



「国道175号には、いつもたくさんの自動車が走っているんだね。」



「社町駅から加古川線に乗って、西脇市の公園に遊びに行ったよ。」



「国道372号は、丹波篠山市にもつながっているんだね。」



「自主運行バスを見たことがあるよ。どのような人が利用しているのかな。」

市内は、東西に中国自動車道が通っています。大阪府や岡山県など他府県にも行きやすく、高速バスも通っているため、移動に便利です。

路線バスを利用すると、神戸市や明石市へ行くこともできます。

工業団地の近くには、高速道路や国道が通っていて、物を運びやすくなっています。

まなびのポイント

地図や写真を見て、市の交通の様子を調べよう。

道路や鉄道が、どこを通っているか話し合おう。



▲自主運行バス



▲市役所



▲中央図書館



▲加東消防しよ



▲滝野総合公園体育館(スカイピア)

めあて

加東市の公共しせつはどこにあり、どのようなはたらきをしているのでしょうか。

まなびのポイント

市にはどのような公共しせつがあるのか調べよう。

市役所では、どのような仕事をしているのか予想しよう。

ことば

市役所 わたしたちのまわりには、くらしにかかわるさまざまな仕事があります。市民のくらしにかかわる仕事をしているところを市役所といい、市役所には、市民が相談できるまど口があります。

●加東市の公共しせつ



「市役所で、赤ちゃんをつれてそうだんに来ている人をよく見かけるよ。」



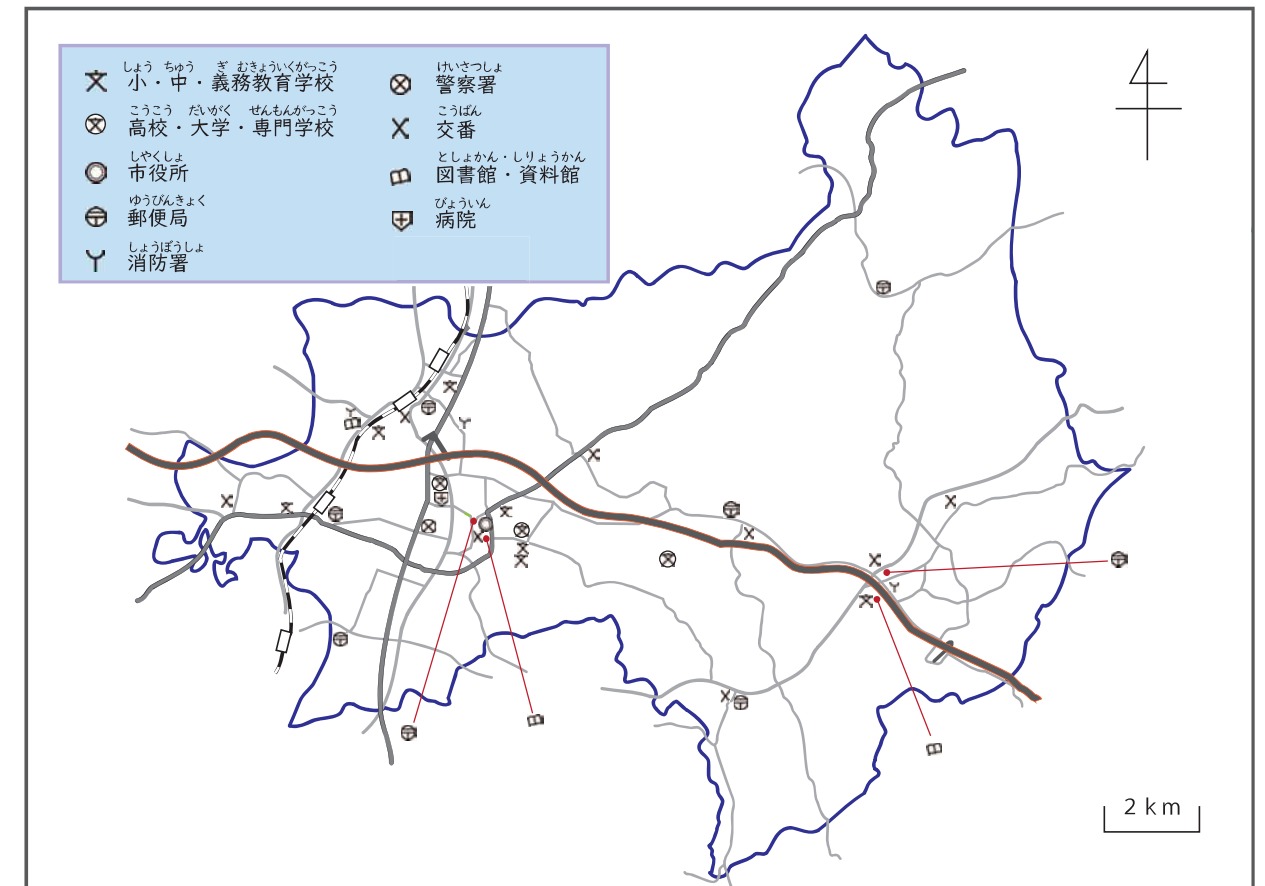
「うちの人が、市の図書館で本をたくさんかりていたよ。」

市内には、市役所や図書館、体育館などの公共しせつがあります。

図書館ではたらく人の話



図書館では、絵本の読み聞かせをするお話会や、工作教室など子ども達(たち)が楽しむことができるイベントを行っています。



▲加東市にある主な公共しせつ

見方・考え方

公共しせつの数や位置は、しゅるいによって、どのようなちがいがあるのかな。



▲佐保神社

佐保神社は、「やしろ」の地名の由来になった大きな神社です。722年に今の場所に建てられました。



▲神事舞踊り(上鴨川住吉神社)

たて物の建てられ方が貴重で、本殿は国の重要文化ざいに指定されています。



▲国宝 朝光寺 本堂

5月に行われる鬼追踊りが有名です。



▲重要文化ざい(播州清水寺)

たくさんのたて物が国や県の文化ざいに指定されています。

めあて

加東市にのこる古いたて物には、どのようなものがあるでしょうか。

ことば

文化ざい 長いきしの中で今日まで守りつたえられてきたたて物や美じゅつ品、祭りなどをさします。

いわれ いわれは、ものごとのはじまりや、理由のことをいいます。

まなびのポイント

行ったことがある古くからのこるたて物を出し合ってみよう。

たて物の場所を地図でさがしてみよう。

●加東市に古くからのこるたて物

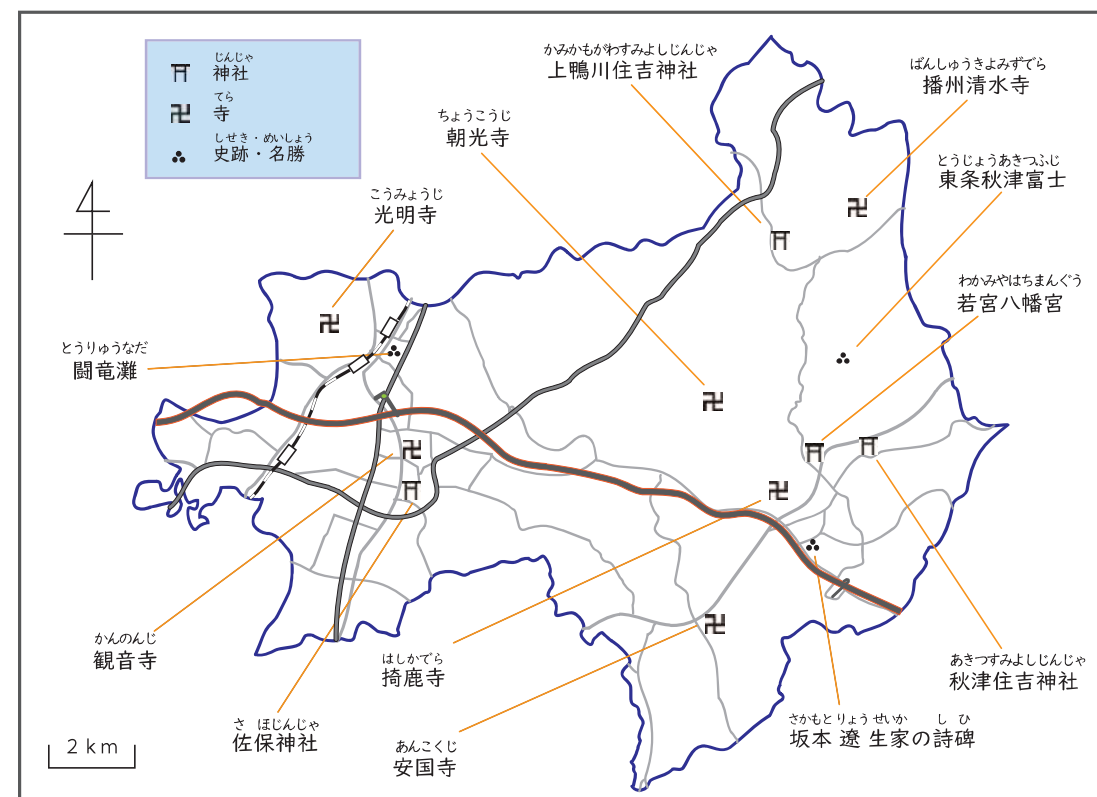


「佐保神社で行われる秋祭りは、布団屋台がねり歩き、北播三大祭りの一つになっているんだね。」



「上鴨川住吉神社では、毎年10月に神事舞踊りが開かれているよ。」

市内には、そのほかにも朝光寺や播州清水寺など、昔からあるたて物が多くのことっています。国や県の文化ざいや国宝となっているものもあります。



▲古くからのこるたて物

見方・考え方

身近な寺や神社には、どのようないわれがあるのかな。

2

はたらく人と わたしたちのくらし

1-① 農家の仕事

めあて

市では、どのような作物
が作られているのでしょ
うか。

工場の仕事(32~43ページ)と
どちらかをえらんで学習しまし
よう。



▲直売所(ふれすこ社)



▲特産品のもも



▲加東市で育てられたやさい▲



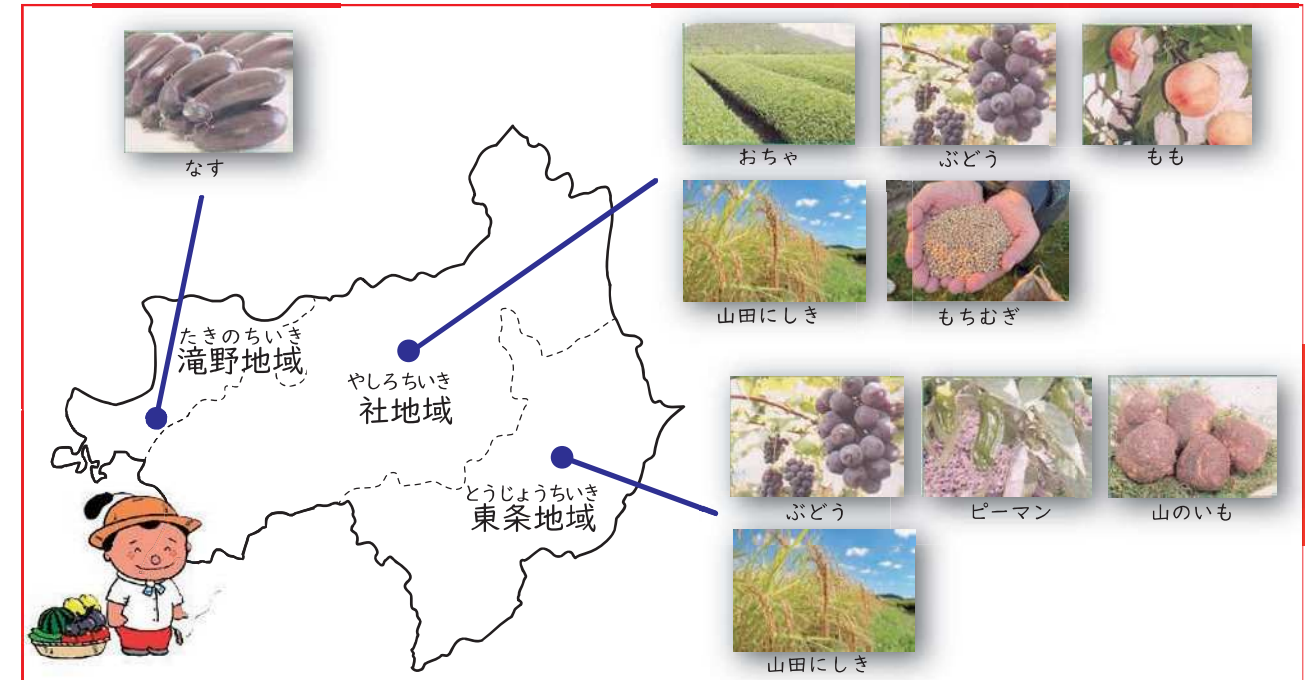
●市でつくられるやさいやくだもの

加東市には、たくさんのため池があり、市
内には田や畑が広がっています。あゆむさ
んたちは、加東市でつくられる米ややさい、
くだものについて、話し合いました。

「この間、やさいの直売所に行く
と、加東市でつくられたやさいがた
くさん売られていたよ。」

「わたしのおじいちゃんは米を育て
ているよ。」

「どのあたりに田や畑が広がってい
るのか、地図で見てみよう。」



▲加東市でつくられる主な作物

あゆむさんたちは、加東市でつくられてい
る作物について、地図を使って調べました。

「加東市では、米ややさい、くだも
のなどたくさんの作物をつくってい
るね。」

「地いきによって、いろいろな物を
育てているんだね。」

「加東市の西がわと東がわいっばい
に、田んぼが広がっているよ。」

「加東市には有名な米があるって、
聞いたことがあるよ。」

まなびのポイント

身近な地いきでつくら
れている作物をさがして
みよう。

その作物が作られて
いる場所を、地図でかく
にんしてみよう。

めあて

山田錦づくりについて、気づいたことやぎもんに思ったことを話し合い、学習問題をつくりましょう。

ことば

農家 やさいやくだもの、米などをつくることを仕事にしている人たちです。農家では、自然や作物のとくちように合わせて、さまざまなくふうをしています。

品質 品物のよしあしのことです。

まなびのポイント

山田錦について知りたいことを出し合おう。

学習問題について予想し、学習計画を立て、学習の見通しをもとう。



▲山田錦の様子

●日本一の酒米の生産地

あゆむさんたちは、加東市で育てている山田錦という米が日本で有名な酒米であることを知りました。

「近所の農家の人に山田錦のことを聞いてみたよ。山田錦のうち全国の半分以上を加東市や三木市で育てているらしいよ。品質もいいそうだよ。」

「どうしてそんなにたくさんの山田錦を育てることができるのかな。」

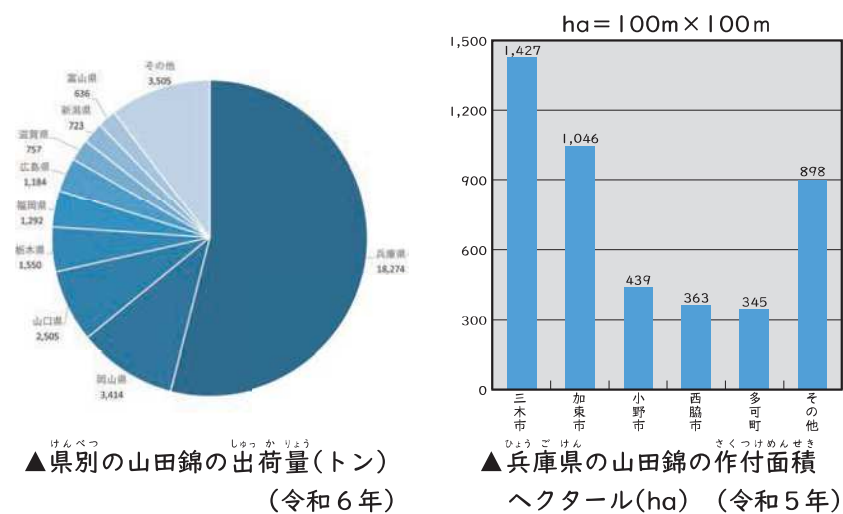
「ほかの地いきよりも田が多いのかな。」

「農家の人たちが山田錦づくりでくふうしていることはなんだろう。」

山田錦育ての親 藤川 禎次さん



1895(明治28)年加東市高岡に生まれました。酒米試験地の初代主任となり、酒米の研究にはげみ、山田錦のたん生にもたずさわりました。品質のよい酒米をつくるために、一つぶ一つぶを調べ、酒米の発展に力を尽くした人です。



「山田錦の研究をしているしせつもあるらしいよ。」

「じっさいに話を聞きにいったいな。」

学習問題

どうして加東市では、品質のよい酒米(山田錦)をつくることができるのでしょうか。

しら調べること

- 見てくること
 - ・はたらく人の様子
 - ・田やまわりの様子
 - ・使っている道具やきかい
 - ・仕事のじゅんじょ
- 聞いてくること
 - ・育て方
 - ・なぜ山田錦がたくさんつくられているのか
 - ・どのように広めているのか

調べ方

- ・農家や酒米試験地へ見学に行く。
- ・加東市のHPで調べる。

まとめ方

- ・調べたことをもとに、山田錦をせんでんするキャッチコピーを考える。

めあて

農家の人は、1年間どのように仕事をしているのでしょうか。

● くふうが詰まった山田錦

あゆむさんたちは、どのように山田錦が育つか調べることにしました。



たい肥やいなわらをしゅうかく後にまき、土をしっかりとまぜておきます。そして、冬の冷たい風にしっかりとふれさせることで、害虫から病気をふせぎ、自然にやさしく、えいようたっぷりの土ができるようにしています。

① 田おこし・土づくり(11月～2月)



なえ箱にたねもみをまき、しっかりとしたなえをつくれます。

② なえづくり(4月末～5月)



じょうぶないねを育てるために、土と水をよくかきまぜ、土を平らにします。

③ しろかき(田植え前)



なえとなえの間をとって植えることで、日当たりと風通しがよくなり、いねの病気をふせぎます。

④ 田植え(6月)



土をかわかすために、田にみぞをつくれます。すると、水がみぞへ流れやすくなります。

⑤ みぞきり・中ぼし(7月)

土をかわかすと、土の中にしっかりと根がはり、じょうぶないねになります。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
主な仕事		・土づくり		・なえづくり②	・田に水を入れる ・なえづくり	・しろかき③	・田植え④	・みぞきり⑤ (土をかわかす) ・中ぼし	・虫よけ作業 ・肥をまく		・いねかり⑥ ・かんそう	・もみすり	・田おこし① ・土づくり
	← 水の管理、草かり・草取りなど田の手入れ →												

▲ 米づくりカレンダー



⑥ いねかり(10月)

しつ度や日照時間を考えながら、いねにとっていちばんよい時期を見つけ、しゅうかくします。

米は、およそ6か月間かけて育ちます。食用米よりも背が高く、風のえいきょうを受けやすい山田錦を育てるのは、かんたんではありません。そのために、水を調節し、えいようたっぷりの土をつくって品質のよい山田錦を育てています。

ことば

日照時間 太陽の光が地面に当たっている時間のことです。

まなびのポイント

米づくりの1年間について農家の人に聞いてみよう。

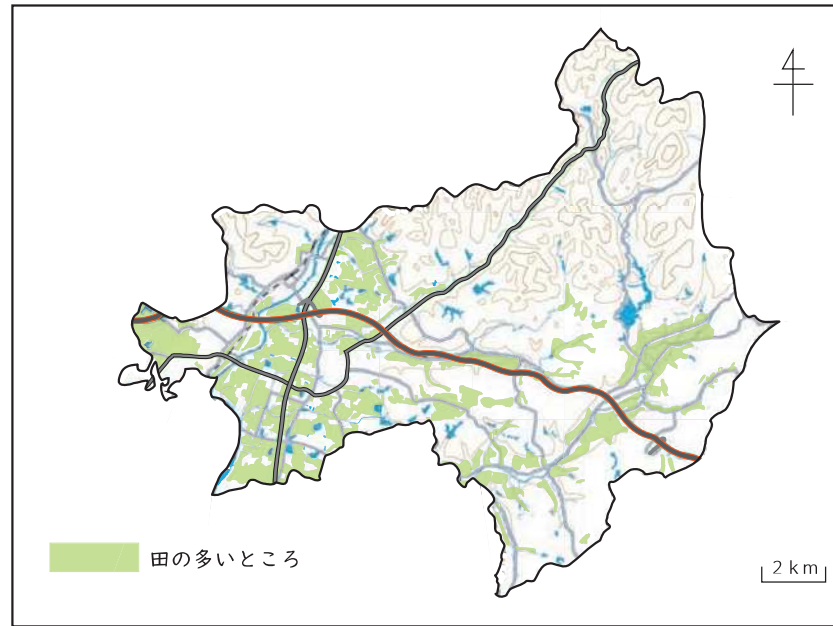
見たり、聞いたり、じっさいにふれたりして、たしかめよう。

見方・考え方

ほかの作物をつくるときも、同じようなくふうや努力をしているのかな。

めあて

どのようにして、たくさんの田に水がとどけられているのでしょうか。



●米を育てるための水はどこから

あゆむさんたちは、加東市の地図を見ながら、農作物を育てるための水がどこから流れているのかを話し合いました。

「米づくりには、作業がたくさんあったね。そして、たくさんの水が使われていたよね。」

「でも、加東市は田や畑が多いけれど、川が少ないね。米を育てるための水は、どこから流れているのかな。」

加東市には、田や畑のために使用できる川がほとんどありません。かわりに、市内にはおよそ1100か所のため池があります。

まなびのポイント

農家の人は、どのように田に水をとどけているのかを考えよう。

米をそだてるための水は、どこからきているのかたしかめよう。



▲米田地いきの土地の様子



▲水を分ける仕組み



▲米田地いきの水源の一つ

田のあるところから、さらに上へのぼっていくとため池があります。

ため池は土地の高い所につくられており、高い土地から低い土地へ水が流れるようにくふうされています。

また、たくさんの田に水をとどけるために、みぞには水を分ける仕組みがつくられています。

「農家の人たちで、当番を決めて、水の管理をしているみたいだよ。」

「水を流すために、地いきの人たちで、田のまわりの草かりやみぞをそうじをしているのを見たことがあるよ。」

「土地をじょうずに活用しみんなで協力して、田に水が流れるようにしているんだね。」



▲地いきのみぞそうじの様子

気をつけよう

・川やため池を調べるときは、かならず大人といっしょにいきましょう。

見方・考え方

たくさんの田にとどけるためには、どんなくふうがあるのかな。

めあて

なぜ、加東市では、たくさんの山田錦をつくることのできるのでしょうか。



▲山田錦



▲酒米試験地(沢部地区)

まなびのポイント

見学に行って、わかったことやふしぎに思ったことをメモしておこう。

もっとくわしく知りたいことを整理しよう。

●日本有数の生産地

「どうして、こんなにたくさんの山田錦が加東市で育つのかな。」

「ほかの地いきでは、育てるのがむずかしいのかな。」

「山田錦について調べている人に聞いてみよう。」

あゆむさんたちは、どうして加東市内でたくさんの山田錦を生産することができるのかを調べるために、酒米試験地へ見学に行きました。

酒米試験地ではたらく人の話

私たちは、山田錦の研究をしています。山田錦が育つための条件は、①日照時間が長い②昼と夜の気温差が大きい③えいよう分の多いねばりけのある土の3つがそろっていることです。晴れの日が多く、兵庫県山間部に位置する加東市は、山田錦を育てるためにぴったりの土地です。

酒米試験地では、これからも農家のみなさんが安心して米づくりができるように、暑さや病気に負けない、じょうぶな酒米を育てるための研究を進めていきます。



▲山にかこまれた田の様子(米田地いき)



▲酒米試験地の生育調査の田の様子



▲食用米と酒米のつぶの大きさのちがい

心白といわれる白いところが多いと、よい酒をつくることができます。

地点	標高	1日の気温差	日照時間	雨の量
三木市	145m	8.2°C	152時間	165mm
神戸市	5m	6.2°C	164時間	157mm
朝来市	80m	9.3°C	123時間	225mm

▲兵庫県内9月(～2020)の平均値(気象庁)

「山田錦を育てている田の土は深く、ねん土みたいな土があるらしいよ。だから、えいようがたっぷりなんだって。」

「そして、食べる米よりもつぶが大きくて、酒づくりにぴったりだよ。」

「山田錦は、農家の人たちのくふうだけではなくて、自然にもめぐまれているんだね。」

「ぜひ、たくさんの人に山田錦のことを知ってもらいたいな。」

加東市のある北はりま地いきは、山田錦を育てるための条件がそろっています。



▲田の土の様子

見方・考え方

山田錦が育つには、自然かんきょうがどのようにえいきょうしているのかな。

めあて

山田錦をたくさんの人々に広めるために、どのような取り組みがあるのでしょうか。



▲加東市の酒ぐら(神結酒造)



▲かんぱい祭りの様子

●山田錦を広める取り組み

加東市で育てられた山田錦は全国の酒ぐらへ送られて酒になります。山田錦からつくられた酒は、日本だけでなく世界の人々にも親しまれています。



「このあいだ、道の駅とうじょうへいったら、山田錦の米粉で作られたおかしやパンが売られていたよ。」



「東条地いきでは、山田錦の田を見て歩くイベントや田植え体験があるらしいよ。」



「山田錦をつくる仕組みが日本農業遺産というものに登録されたそうよ。」



「たくさんの人に親しまれる山田錦になるといいね。」

ことば

酒ぐら しゅうかくされた米から酒をつくることです。全国各地にあり、たくさんの人に好まれる酒づくりをしています。

まなびのポイント

山田錦をたくさんの人に知ってもらうために、どんな取り組みがあるか調べよう。

山田錦を広めるために、わたしたちにできることはないかを考えよう。

見方・考え方

山田錦を知ってもらうためにどのような取り組みがあるかな。



▲山田錦でつくられた酒



▲山田錦の送り先



▲市役所前の様子



▲探訪ウォークの様子



▲田植え体験の様子

農家としてはたらく人の話



父から田を受けつぎました。まだまだ、わからないこともあります。地いきの人に教えてもらっています。自分で育てた山田錦がおいしい酒になるのはうれしいです。これからも文化をつないでいけるようにがんばります。

市役所ではたらく人の話



山田錦は「酒米の王様」といわれています。最高品質の山田錦からつくられる酒がたくさんの人に知ってもらうことができるように、ホームページや広く、広ほうしをつくっています。

1-②
工場の仕事



▲滝野工業団地の様子

●加東市内にある工場

加東市には、たくさんの工場があります。先生が、加東市の工場についての地図や写真を見せてくれました。

「加東市にはいろいろな工場があるね。」

「わたしのおばさんは、カップラーメンをつくる工場ではたらいているよ。」

「どのあたりに工場が多いのか、地図で見よう。」

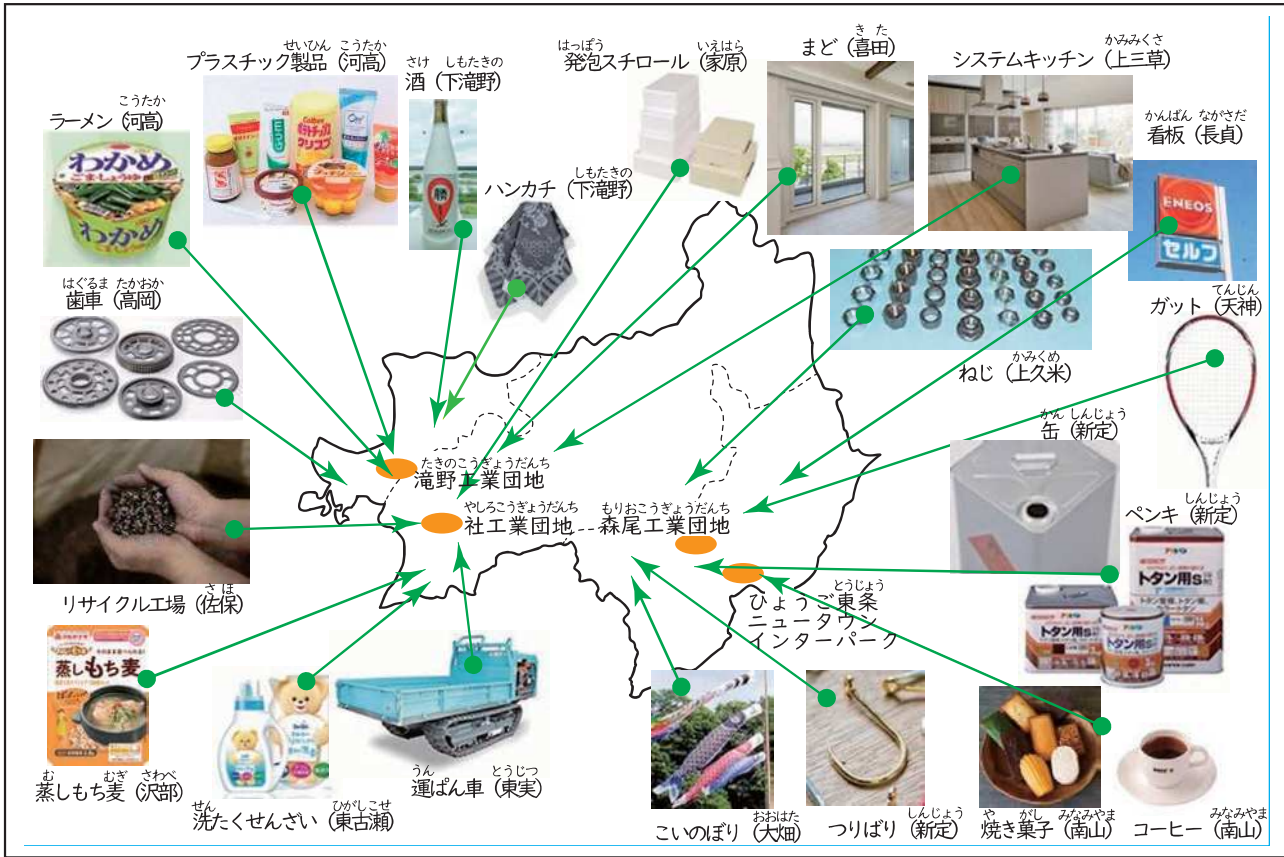
めあて

わたしたちの市の工場では、どのようなものをつくっているのでしょうか。

農家の仕事(20~31ページ)とどちらかをえらんで学習しましょう。

まなびのポイント
身近な地いきでつくられているものをさがしてみよう。
そのものがつくられている場所を地図でかくにんしてみよう。

ことば
工場 きかいやきぐをそなえて、ものをつくり、加工するところです。



▲加東市の工場

あゆむさんたちは、蒸しもち麦工場について、くわしく調べてみることにしました。

見方・考え方
工場は、市のどのあたりに広がっているのかな。

めあて

マルヤナギ工場について
気づいたことやぎもん
に思ったことを話し合
い、学習問題をつくりま
しょう。



▲マルヤナギ工場の位置



▲マルヤナギ工場

●見学の計画を立てる



「わたしたちの市には蒸しもち麦
を作る工場があるね。」



「ざい料のもち麦は、どこから来る
のかな。」

蒸しもち麦は、どのような工場
で、どのようにしてつくっている
のでしょうか。あゆむさん
たちは、じっさいにマルヤナギ
工場に見学に行って調べるこ
とにしました。

まなびのポイント

蒸しもち麦づくりにつ
いて知りたいことを話し
合おう。

マルヤナギ工場を見学
する計画を立てよう。



▲工場で作られているもち麦製品



▲マルヤナギ工場ではたらく人たち

しらべること

●見てくること

- ・原料・蒸しもち麦ができるじゅんじょ
- ・使っているきかい
- ・はたらく人の仕事の様子や服そう

●聞いてくること

- ・工場ではたらいている人の数
- ・原料はどこから工場にとどくのか
- ・1日に使うもち麦の量
- ・くふうしたり、気をつけたりしていること

調べ方

- ・工場に見学に行く。
- ・わからなかったことは、メールで質問する。

まとめ方

- ・調べたことをもとに、もち麦製品をせんでんする新聞にまとめる。

学習問題

工場では、蒸しもち麦をおいしく、たくさんつくるために、どのような仕事を
しているのでしょうか。

めあて

原料のもち麦は、どこから運ばれてきているのでしょうか。



▲原料が運ばれてくる様子

しゅうかくしたもち麦は、かんそうさせ、品質けんさをうけた後、ほかんされます。



▲原料をほかんするそうこ

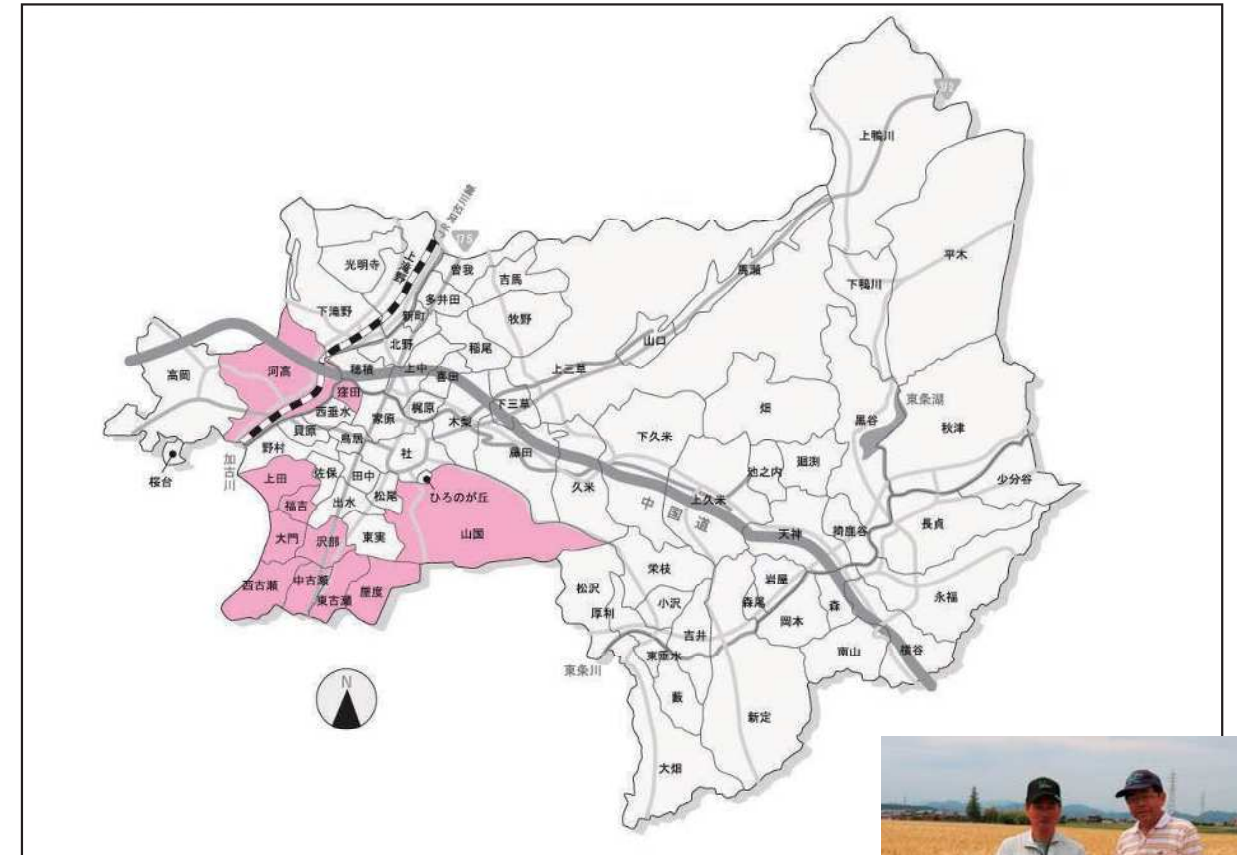
まなびのポイント

原料のもち麦について調べよう。

調べてわかったことを、地図にまとめよう。

●原料のもち麦

蒸しもち麦の原料のもち麦は、加東市の西がわの地いきで、たくさんさいばいされています。



▲原料はどこから



▲生産者



「地元で育てられたもち麦が使われているんだね。」



「しゅうかくしたもち麦は、かんそうさせてからほかんされていることがわかったよ。」



「よいものをつくるために、原料以外にも、どんなくふうをしているのかな。」

ことば

原料 あるものをつくるときの、そのもとになる材料のことです。

見方・考え方

原料が運ばれてくる地いきは、どのあたりにあるのかな。

めあて

蒸しもち麦は、どのようにつくられているのでしょうか。

●蒸しもち麦ができるまで

あゆむさんたちは、工場を見学して、じっさいに蒸しもち麦をつくるところを見せてもらいました。

工場では、一日に約2トンのもち麦を使ってさまざまな商品を作っています。

たくさんのきかいを使って製品がつくられています。

見方・考え方

マルヤナギ工場には、どのようなくふうがあるのかな。



①精麦工場で、「精麦」する。つぶの小さいものや軽いもの、石などを取りのぞく。



②もち麦の表面をけずってみがき、さい後に色のついているつぶを取りのぞく。



③精麦後のもち麦をふくろづめにすると、「兵庫育ちのもち麦」ができる。「蒸しもち麦」になるものは、さらに加工工場に運ぶ。



④もち麦を水や湯につけ、きゅう水させる。

まなびのポイント

工場の人に、どのような仕事があるのか聞いてみよう。

工場の仕事の様子について、見たことや聞いたことをメモしよう。



⑤きかいでふくろにつめる。



⑥高温・高圧で調理さきんすることで、「蒸しもち麦」ができる。



⑦きかいで箱づめして、出荷する。

おいしくつくるためのくふう



▲品質けんさ①



▲品質けんさ②



▼食味確認

めあて

マルヤナギ工場では、どのようなくふうをしているのでしょうか。

まなびのポイント

おいしい蒸しもち麦をつくるくふうについて考えてみよう。

えいせい面でのくふうについて考えてみよう。

●はたらく人のくふう

次に、工場ではたらく人の様子について話を聞きました。

マルヤナギ工場ではたらく人の話



品質けんさは、原料のときと、商品になってから出荷する前に行います。原料は、使う前にきじゅん以上の品質を保っているかをかくにんします。

また、実際に商品にしたときに、これまでと同じようなおいしさで作ることができているかをかくにんします。

えいせい面のくふう



▲はたらく人の服



▲エアシャワー



▲ねんちゃくローラー



▲手あらい



「もち麦をつくるために、こんなにたくさんくふうされているんだね。」



「きかいがする作業と人がする作業があるんだね。」



「食べ物をおつかっているから、工場の中がいつもせいけつになるように気をつけていることがわかったよ。」



「はたらく人のくふうがあるから、安全でおいしい蒸しもち麦ができるんだね。」

ことば

品質 品質のよしあしのことです。

見方・考え方

工場ではたらく人は、えいせい面でどのようなことに気をつけているのかな。



▲JAみのり直売所 ふれすこ



▲インターネットの注文ページ



サラダ

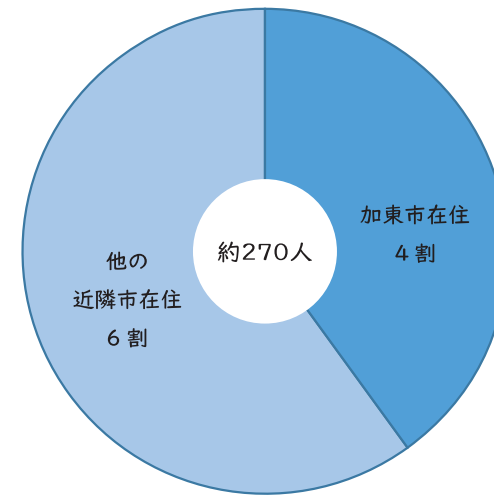


ごはん



スープ

▲もち麦を使った料理



▲はたらく人はどこから



▲もち麦活用協議会の取り組み(もち麦うどん打ち)



「できあがったもち麦製品は、どこで売られているのかな。」

あゆむさんたちは、工場ではたらく人にメールでしつもんしてみました。



(もち麦料理コンテスト)

めあて

工場は、地いきとどのようにかかわっているのでしょうか。

まなびのポイント

できあがった蒸しもち麦は、どこで売られているのか調べてみよう。

工場ではたらく人たちは、どこから来ているのか調べてみよう。

●地いきとのかかわり

あゆむさんたちは、できあがったもち麦製品が、どこで売られているかを調べました。



「もち麦製品は加東市だけでなく、となりの小野市のスーパーマーケットでも売られているんだよ。」



「学校の給食にも、もち麦が使われているこん立があるね。」



「インターネットの注文は、たくはいびんで送られるそうだよ。」

マルヤナギ工場からのメール



できあがったもち麦製品は、全国で売られていて、加東市でもスーパーマーケットやかんこう客が多くおとずれる道の駅で、売られています。

道の駅ではんばいしているのは、もち麦製品を通して、市のみりよくをたくさんの人に知ってもらいたいと考えているからです。



「工場の仕事とわたしたちの生活は、いろいろなところでつながっていることがわかりました。」



▲もち麦を使った給食

見方・考え方

もち麦製品がはんばいされている店は、どのように広がっているのかな。



▲ショッピングセンター



▲商店街



▲コンビニエンスストア



▲ドラッグストア

2 店で はたらく人

めあて

わたしたちは、どのような店で買い物をしているのでしょうか。

●よく行く店

みさきさんたちは、家の人とよく買い物を
する店について、みんなで話し合いました。



「休みの日には、家の人と車で
ショッピングセンターに行きます。」



「お肉は、いつも商店街のお肉屋さ
んで買っています。種類が多くてと
てもおいしいです。」



「急に買い物をしなければならない
ときは、歩いて近くのコンビニエ
ンスストアに行きます。」

●買い物調べ

みさきさんたちは、よく行く店について、
家の人にしつもんして見ることにしました。

しつもんすることを整理して、しつもん
カードにまとめました。

①よく買い物に行く店はどこですか。

②その店に行くわけを教えてください。

③そこではどのようなものを買うのか教えて
ください。

まなびのポイント

どのような店によく行
くか話し合おう。

家の人にしつもんした
いことを話し合い、しつ
もんカードをつくろう。



▲みんながよく行く店

めあて

お家の人はどういう店
でよく買い物をするので
しょうか。

● 買い物調べ

みさきさんたちは、白地図を使って、近くにある店の場所に、しるしをつけてみました。

「商店街にはお肉屋さんやこんぶ屋さんがあるよ。コンビニエンスストアもあるよ。」

「遠い店もあるよ。何かその店に行くわけがあるのかな。」

みさきさんたちは、店について調べるために、家の人に、よく行く店について聞いてみることにしました。

● ● ● ● ● ● ● ●	ショッピングセンター
● ● ● ● ● ● ● ●	近くのスーパーマーケット
● ● ● ● ● ● ● ●	ドラッグストア
● ● ● ● ● ● ● ●	商店街 (お肉屋さん・パン屋さん・こんぶ屋さん)
● ● ● ● ● ● ● ●	コンビニエンスストア

▲しつもんカードの集計カード



「ショッピングセンターに買い物に行く人が多かったです。」



「近くのスーパーマーケットで買い物をする人も多いです。」



「商店街やコンビニエンスストアで買い物をする人もいます。」



「ショッピングセンターやスーパーマーケットで買い物する人が多いのはなぜだろう。」



▲ショッピングセンター

めあて

ショッピングセンターに買い物に行く人が多いのはなぜなのか話し合っ、学習問題をつくり、学習計画を立てましょう。

まなびのポイント

たくさんの方がショッピングセンターに行く理由を考えよう。

学習問題について予想して、学習計画を立てよう。

●ショッピングセンターのよいところ

みさきさんたちは、ショッピングセンターに買い物ものに行く人が多い理由りゆうを考えました。



「一度に、いろいろなものが買えてべんりだからじゃないかな。」



「ちゅう車場がとても広いから、車で来てたくさん買えるからじゃないかな。」



「新聞によく、ちらしが入っているよ。どんなものが安いやすのか、わかるからじゃないかな。」

学習計画を立てよう！

調しらべること

- ・品物しなものを見つけやすくしたり、品物のよさをつたえたりするために、どのようなことをしているか
- ・どのような仕事しごとをしているか
- ・どのような品物しやくを売っているか
- ・たくさんのお客さんに来てもらうためにどのようなことをしているか

調かたべ方

- ・スーパーマーケットやショッピングセンターに見学に行く。
- ・そこで、はたらいている人やお客さんにインタビューをする。
- ・店長さんに、たくさんのお客さんに来てもらうためのくふうを教えてください。

まとめ方

- ・見学に行って気づいたことや、インタビューしてわかったことを、タブレットつかを使ってまとめる。

学習問題

ショッピングセンターではたらく人は、多くの人々ひとびとに買い物をしてもらうために、どのようなくふうをしているのでしょうか。

めあて

スーパーマーケットの売り場は、どのようになっているでしょうか。

見学の時に気をつけること

- ①店の人の仕事や買い物をしているお客さんの邪魔にならないようにする。
- ②品物には手をふれないようにする。
- ③話を聞くときはあいさつをして、終わったらお礼を言う。

まなびのポイント

見学に行って気づいたことやふしぎに思ったことをメモしておこう。

ふしぎに思ったことは、なぜそうなっているのか予想してみよう。

※教科書にのっている売り場の様子を見てみよう。

●大きなお店の様子

みさきさんたちは、ショッピングセンターの見学にやってきました。



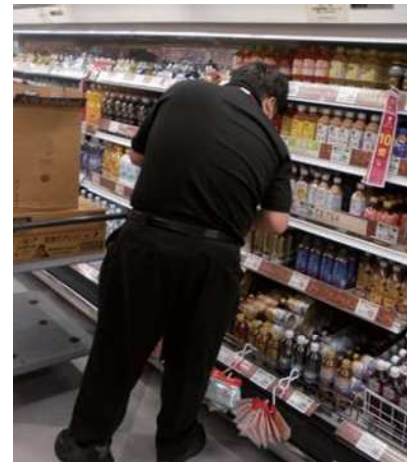
「いろいろな仕事をしている人がいるよ。」



「はたらいっている人はどんなことをしているのかな。」



▲魚をさばく人



▲品物を売り場に出す人



▲おそうざいをつくる人



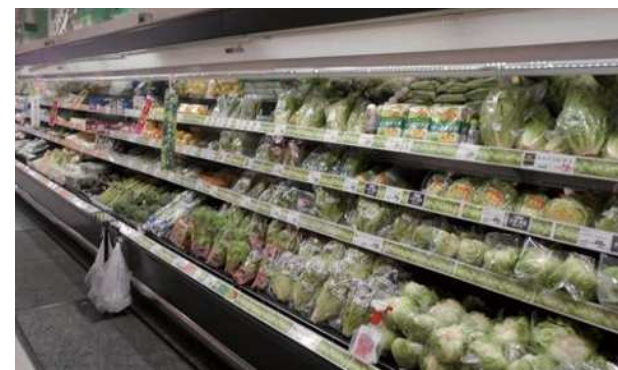
▲レジを打つ人



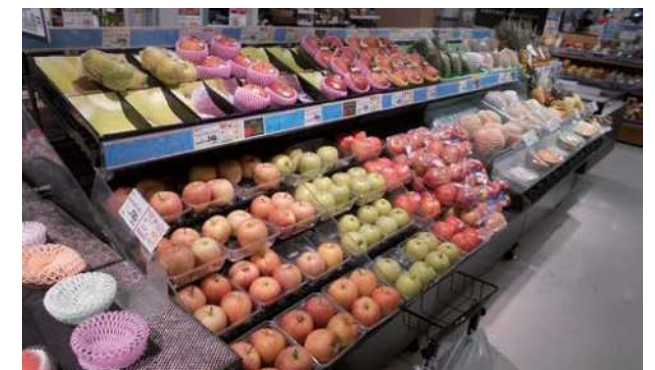
「品物を売り場に出す人は、どんなことを工夫しているのだろう。」



「売り場の並べ方には、なにか工夫があるのかな。」



▲やさい売り場



▲くだもの売り場



▲肉売り場



▲魚売り場



▲飲み物売り場



▲そうざい売り場



▲品物の位置がわかるかんばん



▲くだものと、つくられたところの表示



▲やさいと、農家の人の写真



▲さまざまな大きさに切り分けられたやさい



▲サービスカウンター

めあて

スーパーマーケットの売り場には、どのようなひみつがあるのでしょうか。

まなびのポイント

気づいたことや考えたことをメモに書いてみよう。

はたらく人にインタビューすることを整理しよう。

●店で発見

みさきさんたちは、スーパーマーケットの売り場を見て歩き、気づいたことをメモしました。そして、お客さんがたくさん来るひみつについて考えました。



「上のほうに大きなかんばんがあって、その場所にどのような品物があるか書いてあるね。」



「やさいやくだものには、つくられた場所の表示があるね。」



「やさいやくだものが、いろいろな大きさに切っているのは、なぜなのかな。」



「サービスカウンターではどのようなことをしているのかな。」

わからなかったことは、はたらく人にインタビューしてみることにしました。

見方・考え方

自分の家の近くのスーパーマーケットと、ちがうところがあるかくらべてみよう。

めあて

スーパーマーケットでは
はたらく人は、どのような仕
事をしているのでしょうか。

●はたらく人にインタビュー

みさきさんたちは、店長さんや店の人にイ
ンタビューしてみました。



▲広い通路



▲商品をならべる人



▲いろいろな食べ方をしょうかい

店長さんの話



お客さんに安心してお買い物をして
もらえるように、しゅるいごとに並
べ、探しやすいようにかんばんをつけ
ています。また、つねにきれいな売り
場でお出迎えできるように心掛けています。おす
すめの食べ方のしょうかいや楽しくお買物をし
てもらえるように売り場も工夫しています。また、
車いすやベビーカーなどが通れるように通路を広
くするなど買い物がしやすくなる工夫をしていま
す。

まなびのポイント

はたらく人にインタ
ビューしてみよう。

はたらく人のくふうに
ついて考えてみよう。

買う人のねがい

家族の人数に合わせて、ほしい
分だけ買えるようにしてほしい。

ひつようなりょうを買える
ように、いろいろな大きさに
切って売り場に出します。

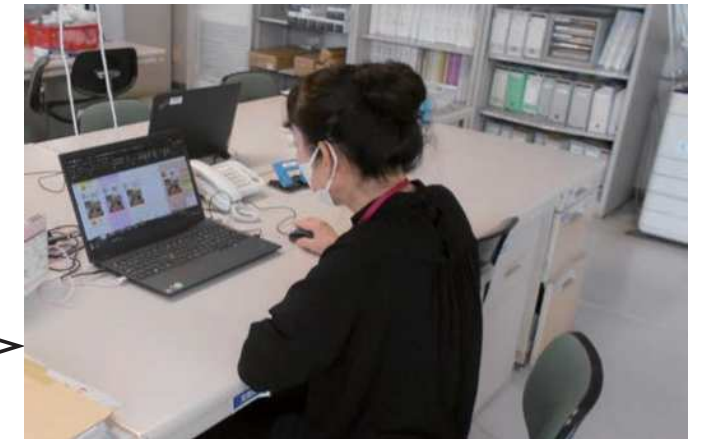


▲魚をさばく人

買う人のねがい

ほしい品物がいつでも買えるよ
うにしてほしい。

コンピューターで品物の売
れぐあいを調べ、注文する
数を決めます。



▲じおしよではたらく人

買う人のねがい

できたての、おべんとうやおそ
うざいが食べたい。

できたてでおいしいものを
売り場に出せるように、1日
に何回かに分けてつくってい
ます。



▲そうざいをパックする人



▲農家から直せつ送られてきたやさいの売り場



▲魚売り場



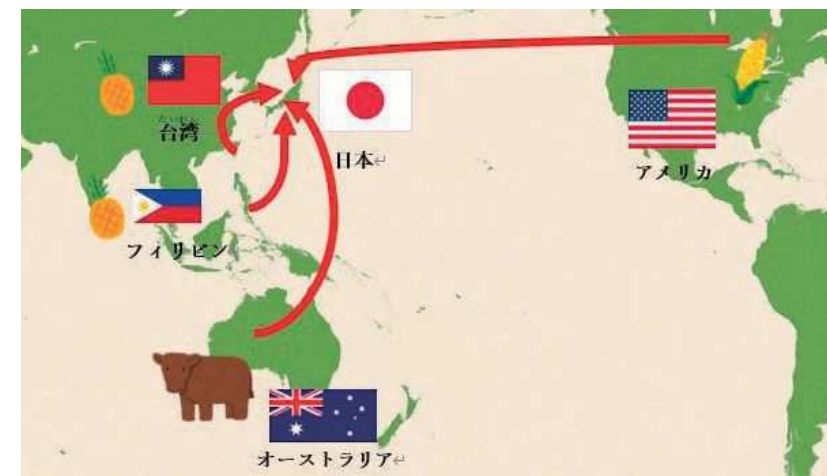
▲パッケージのシール



▲産地名がかかれただんボール



▲日本のさまざまな場所から送られてくる品物



▲外国から送られてくる品物

まなびのポイント

品物がどこから来ているか、わかるものをさがしてみよう。

品物の産地やその国の国旗を、地図帳でたしかめよう。

ことば

産地 やさいやくだもの、肉や魚などの、つくられた場所や取れた場所のことをいいます。産地が書いてあれば、どこでつくられているものかがわかります。

めあて

たくさんの品物は、どこから運ばれてくるのでしょうか。

●品物はどこから



「品物はどこでつくられているのかな。」



「ねふだやパッケージに、つくられたところの地名が書いてあるね。」

みさきさんたちは、さまざまな品物の産地を調べてみることにしました。

見方・考え方

品物の産地は、どのように広がっているのかな。

めあて

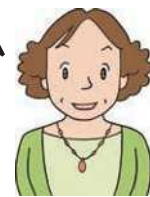
ショッピングセンターでは、売り物のほかにどのような工夫をしているのだろうか。

●たくさんのお客さんが来るひみつ
みさきさんたちは、お客さんにもインタビューしました。



▲ちゅう車場

車で20分ぐらいのところから来ました。ちゅう車場が広くて、むりょうでとめられるので、ゆっくり買い物ができます。



▲ざっか屋



▲カフェコーナー



▲服屋

食品売り場だけでなく、服屋さんやざっか屋さんなどがありいろいろなものがそろっているのでくべんりです。



▲ちらし

新聞に入っていたちらしを見て、ここに来ました。商品が安くなっているのがわかるのでうれしいです。



店長さんの話



たくさんのお客さんに来ていただき、たくさん売り上げをあげるためには、せんでんがとても大切です。紙のちらしのほかにもアプリで配信しています。

また、さまざまなお客さんのねがいにこたえられるように、いろいろなくふうをしています。



▲ご意見ボックス

見方・考え方

お客さんのねがいと、お店の人のねがいは、どのような関係があるのかな。

まなびのポイント

お客さんにインタビューしてみよう。

多くのお客さんが店に来るわけを考えてみよう。

めあて

スーパーマーケットは、品物を売ることのほかに、どのような取り組みをしているのでしょうか。



▲リサイクルコーナー



▲車いすの設置




▲お客さんの相談にのる



▲自分のバッグを使って買い物をする

サービスカウンターではたらく人の話



サービスカウンターでは、いろいろなことに取り組んでいます。商品さがすお手つだいやおくりものの包そうなど、地いきのみなさんが買い物しやすい店になるよう、考えています。



▲ちいきこうけんの取り組み

まなびのポイント

かんきょうを守るために、店が取り組んでいることをさがしてみよう。

だれもが店を利用しやすいようにしている取り組みをさがしてみよう。

●まちの人とともに



「お店の入り口に、牛にゆうパックや食品トレーを入れるリサイクルコーナーがあったよ。」



「かんきょうのことを考えて、ごみをへらすための取り組みもしているんだね。」

みさきさんたちは、ほかにもとくべつな取り組みがないかさがしてみることになりました。



「お店には、買い物の手つだいでくれる係の人もあるね。」



「みんなが買い物しやすくなるように、くふうしているんだね。」

めあて

わたしたちは、ほかにどんな店をりようしているのでしょうか。

●いろいろな店

スーパーマーケットのほかに、わたしたちはいろいろな店をりようしています。

まなびのポイント

スーパーマーケットのほかに、どんな店をりようしているか調べよう。

それぞれの店のとくちょうを調べよう。

しょうてんがい 商店街



▲社商店街



▲肉屋



▲セルフレジ

しょうや 商店街の肉屋さんの話



商店街には、肉屋、和菓子屋、花屋、服屋などいろいろなお店が集まっています。創業から90年以上品質にこだわっています。8年前からセルフレジを導入したり、タウン誌やホームページを作成したりして、お客さんをよぶくふうをしています。

コンビニエンスストア



▲コンビニエンスストア



▲お金を引き出せるきかい 印刷ができるきかい



▲店内の様子



店長さんの話



コンビニエンスストアは、早朝から夜おそくまで買い物ができます。食べ物だけでなく、生活にひつような物をそろえています。おすすめの商品をお客さんがわかりやすいようにポップをつけています。お金を引き出せるきかいや印刷ができるきかいもあります。